

京都大学特色入試の概要

平成 25 年 3 月 26 日
京 都 大 学

1. 本特色入試では、高大接続と個々の学部への教育を受ける基礎学力を重視し、

- ①高等学校での学修における行動と成果の判定、
- ②個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力の判定

を行い、①と②の判定を併せて、志願者につき高等学校段階までに育成されている学び力及び個々の学部の教育を受けるにふさわしい能力並びに志を総合的に評価して選抜する。

①については、高大接続を重んじるという観点から、高等学校での学修における行動や成果を丁寧に評価するため、「調査書」に加え高等学校長等の作成する「学業活動報告書（仮称）」、さらに、出願者の高等学校在学中の顕著な活動歴（例えば、数学オリンピックや国際科学オリンピック出場、大会における入賞、教育委員会賞など）、志願者が作成する「まなびの設計書」をもとに書類審査をする。

②については、学部が定めたカリキュラムの内容を修得するのに必要とされる基礎学力や個々の学部における教育コースにとって望ましい能力を重んじるという観点から、書類審査に加えて、下記の 2. に示すように、面接、筆記検査、口頭試問を組み合わせ実施する。

本特色入試は平成 28 年度入試から実施する。

なお、本特色入試の実施に当たり、必要な調査・分析を行い、さらに、高等学校や関係機関との意見交換等を始めとする高大連携の推進、各学部における入試と教育課程に関する検討を支援する全学組織として、「入試改革検討本部」を平成 24 年 11 月に設置した。

2. 各学部特色入試一覧

学部(学科)名		募集人員	特色入試において求める人材像	上記①に加える②の選抜方法	②の観点からの入試種別	
総合人間学部		5名	高いレベルの文理融合の資質を持っている人材	能力測定考査(英語、文系総合科目、理系総合科目)、センター試験の成績	特色入試 (学力AO入試型)	
文学部		10名	高校での幅広い学びを前提としながら、文学部の各専門分野に対する強い関心と勉学への意欲を持つ人材	論文、センター試験の成績	特色入試 (学力AO入試型)	
教育学部		6名	人間と社会について深い関心と洞察力を持ち、柔軟な思考と豊かな想像力に富む人材	パフォーマンス評価を重視したタイプの入試、センター試験の成績	特色入試 (学力AO入試型)	
法学部		20名	世界・国家・社会の様々な問題に対する強い関心を持ち、多方面にわたる基礎的な学力を備え、論理的思考力にすぐれた人材	小論文、センター試験の成績	特色入試 (後期日程型)	
経済学部		25名	総合的な学力とともに、柔軟な思考と創造性、そして自学自習の能力を持つ人材	論文、センター試験の成績	特色入試 (学力AO入試型)	
理学部		若干名	数理学の分野において優れた才能を持つ人材	数学に関する能力測定考査、口頭試問、センター試験の成績	特色入試 (学力AO入試型)	
医学部	医学科	5名以内	医学研究者として優れた資質・適性を持つMD-PhDプログラムにふさわしい人材	小論文、面接等 (センター試験の成績利用については未定)	特色入試 (推薦入試型)	
	人間健康 科学科	看護	10名以内	学問に対する探究心と人間に対する深い洞察力に加え、高い倫理観を持ち、より多くの人々に健康を届けることへの誇りと自覚を持った医療専門職のリーダーになり得る人材	論文、面接、センター試験の成績	特色入試 (学力AO入試型)
		理学 作業	5名以内 3名以内			
薬学部	薬科学科	若干名	創薬研究分野でグローバルな活躍を志し、柔軟な思考力と基礎学力を持つ人材	論文試験、面接、センター試験の成績	特色入試 (学力AO入試型)	
工学部	地球工学科 電気電子工学科 情報学科 工業化学科	各学科とも 若干名	特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人材	口頭試問、面接、センター試験の成績	特色入試 (推薦入試型)	
農学部	食料・環境経済学科	3名	食料・環境・農業などの分野において、高度な専門知識を持って社会のリーダとなるべき人材	小論文、センター試験の成績	特色入試 (学力AO入試型)	

※1 今回の発表は現時点でのものであり、今後の検討次第で若干変更する可能性がある。

※2 推薦・AO入試の入学手続き者が募集人員に満たない場合は、不足した募集人員分を前期日程の募集人員に加える。

※3 出願書類として、①調査書、②学校長が作成する学業活動報告書(仮称)、③まなびの設計書、④特筆すべき活動を証明するもの、などを検討中。

※4 本特色入試の導入に伴い、平成28年度から経済学部一般入試における「論文入試」は廃止する。

3. 「京都大学特色入試」は、文部科学省が定めた「大学入学者選抜実施要項」に準拠して構想している。

(1) 「大学入学者選抜実施要項」でいうところの「推薦入試」は、「出身学校長の推薦に基づき、原則として学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する入試方法」であり、「推薦書・調査書だけでは入学志願者の能力・適性等の判定が困難な場合」に、各大学が実施する検査、大学入試センター試験の成績、資格・検定試験などの成績等を出願要件や合否判定に用いている。本学の特色入試では、大学教育を受けるために必要な基礎学力を把握するために検査をすることを原則とするので、「大学入学者選抜実施要項」でいう推薦入試とは若干異なる。

(2) アドミッション・オフィス入試とすることは、出身高等学校長等による出願者に係る評価を不要とすることではなく、調査書を補う学校長作成の「学業活動報告書（仮称）」も書類審査の対象とする。このため、「学業活動報告書（仮称）」を提出できない者は出願できなくなる。

(3) 出願の目安あるいは出願要件について、調査書の全体評定平均値として必要な数値を定め、例えば、調査書の成績概評の段階がAやⒶであることや全教科の成績が学年の上位5%以内であることなどを必要とすることを示して、「学業活動報告書（仮称）」にはこのような目安に達していることを説明する欄を設ける。

以上